



第 17 位 不世出の名ジャンパー

8164 P

NEW

オジュウチョウサン

2011年4月3日生 牡 鹿毛

父ステイゴールド

母シャドウシルエット(父シンボリクリスエス)

馬主/榊チョウサン

調教師/小笠倫弘(美浦)→和田正一郎(美浦)

生産牧場/坂東牧場

通算成績/40戦20勝(うち障害32戦18勝)

総取得賞金/9億4137万7000円

主な勝ち鞍/

16~20・22中山グランドジャンプ(J・G I)

16・17・21中山大障害(J・G I)

17・19・20阪神スプリングジャンプ(J・G II)

16・17東京ハイジャンプ(J・G II)

16東京ジャンプS(J・G III)

馬名の由来/家族名より+冠名

常に挑み続けた
障害界の絶対王者

オジュウチョウサンは3歳から11歳まで9シーズンにわたって障害レースに挑み、32戦18勝の成績を残した。障害レースで獲得した賞金は9億1545万7000円。2位のゴーカーイに4億円以上の差をつける断然の歴代1位である。ちなみに平地レースでは8戦2勝。獲得賞金は2592万円だ。

のちに絶対王者として障害界に君臨することになるオジュウチョウサンだが、障害デビューは悲惨な結果に終わった。2014年11月15日、福島競馬場での障害未勝利戦に出走し、なんと14頭立ての14着。優勝馬から13秒7も離れた最下位に終わっている。

4歳時は3勝し、暮れには中山大障害に出走して6着。才能が一気に開花したのは5歳時の16年だ。4月の中山

グランドジャンプで1番人気のサナシオンを下してJ・G I初制覇を飾ると白星街道を突き進んだ。このレースを皮切りに障害重賞9連勝という記録を打ち立てた。

そこでオジュウチョウサンは軌道を修正した。いったん障害界を離れ、平地に戻る道を選んだ。目標は大きく有馬記念出走だった。障害レースを経験することで地力アップにつなげた例は過去にもあった。有馬記念や宝塚記念を制したメジロパーマーが代表的だ。オジュウチョウサンは平地で2連勝し、ファン投票で3位の10万382票を集め、念願の有馬記念出走を果たした。武豊騎手と挑んだレースは見せ場十分の9着だった。

障害界に戻ったオジュウチョウサンは障害重賞の連勝を13まで伸ばした。22年、中山グランドジャンプで優勝したのが現役最後の勝利になった。

年代別・性別ランキング

女性からの
支持が高め

- | | |
|--------------|--------------|
| ●10代……………17位 | ●60代……………32位 |
| ●20代……………17位 | ●70代……………39位 |
| ●30代……………16位 | |
| ●40代……………20位 | ●男性……………26位 |
| ●50代……………23位 | ●女性……………13位 |

Voter's Voice

前人未だのJ・G I 9勝。記録にも記憶にも残る名馬(30代・男性)●障害馬の王者、飛んでないと言われたあの飛び方、そして愛嬌。最後の中山大障害制覇は出来なくともあそこまで頑張ってくれたことに涙が止まりませんでした(20代・女性)●障害レースを知るきっかけになった。走る姿がとて印象に残っています(20代・女性)●競馬場に通い出してから一番長く応援させてくれた特別な馬(50代・女性)